

止戈樞要卷第十四  
師律要略  
一 應變二  
一 塵ナリシテ推来欲ラハ待テ戰  
事ナカレ疾相蒐ニノ可蒐散也  
此行ト云ハ弓鉄矢ヲ左右ニ進  
マセ抜蒐サセテ是ヲ要リ本勢  
ハ其動搖ニ乘テ急ニ可蒐合者

止戈樞要卷九十五 師律要略

縱位行伍守丹漸人増業著

應變二

一 塵ナリシテ推来欲ラハ待テ戰  
事ナカレ疾相蒐ニノ可蒐散也  
此行ト云ハ弓鉄矢ヲ左右ニ進  
マセ抜蒐サセテ是ヲ要リ本勢  
ハ其動搖ニ乘テ急ニ可蒐合者

也

弓鉄矢抜菟ノ要ル

本勢



弓鉄矢ハ抜菟ノ要ル

五火... 要... 要...

一日既ニ暮方ニ成テ敵モ曳色ニ

視ル則ハ我之鉄矢ノ者ヲ二手

ニ分テ際積ニ百歩ヲ隔テ彼之

左右ニ進マヤヘシ如是則ハ敵

必ス手ヲ乱メ可逃然処ヲ本陣

ハ萃凱一同ニ追菟テ可撃者ナ

鉄矢進出



北

敵

追行 ○ 本勢

一 敵来テ可戦勢則有ト云凡矢軍

鉄矢進出

ヲ事トシテ陣之ヲ事アラハ敵  
必伏兵ヲ置テ曳入ヘキ行ト可  
知如是則ハ我之勢ヲ三隊ニシ  
テ追蒐テ可討也彼之伏有ト云  
凡必ス伏処ヲ追立ラハキ者  
也

敵曳



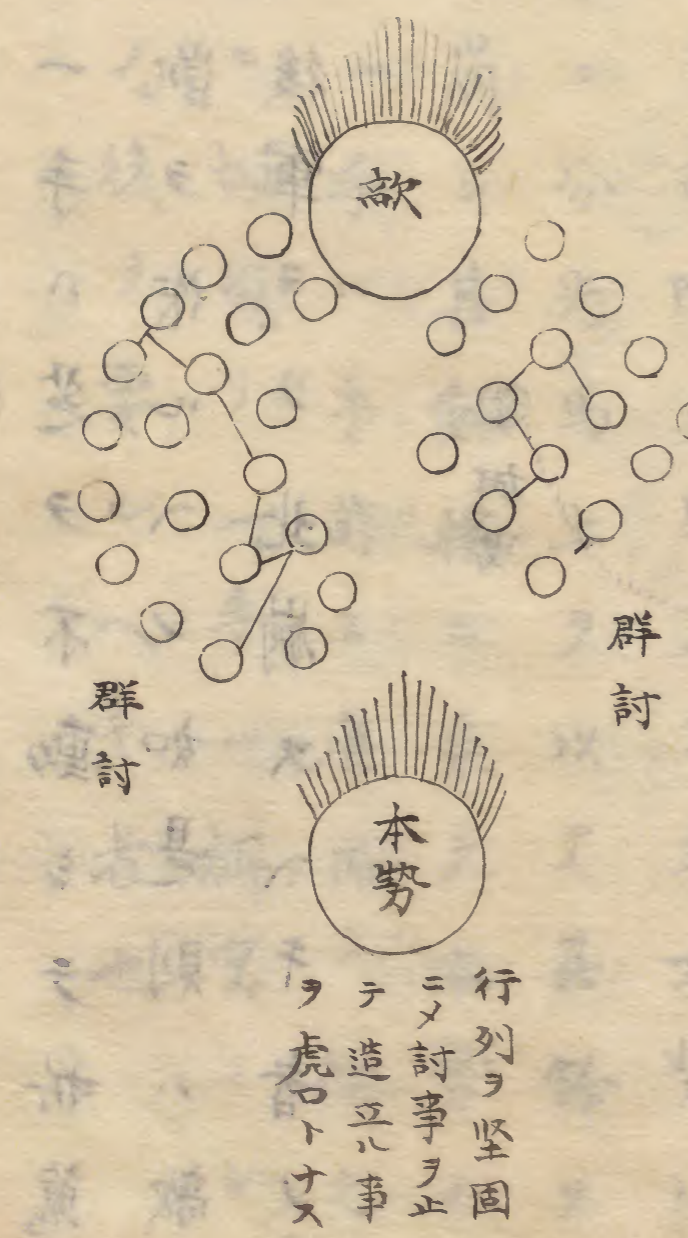
本勢追行



○ 敵ノ伏兵ヲ追立勢也

○ 敵ノ伏兵追立ハ勢也

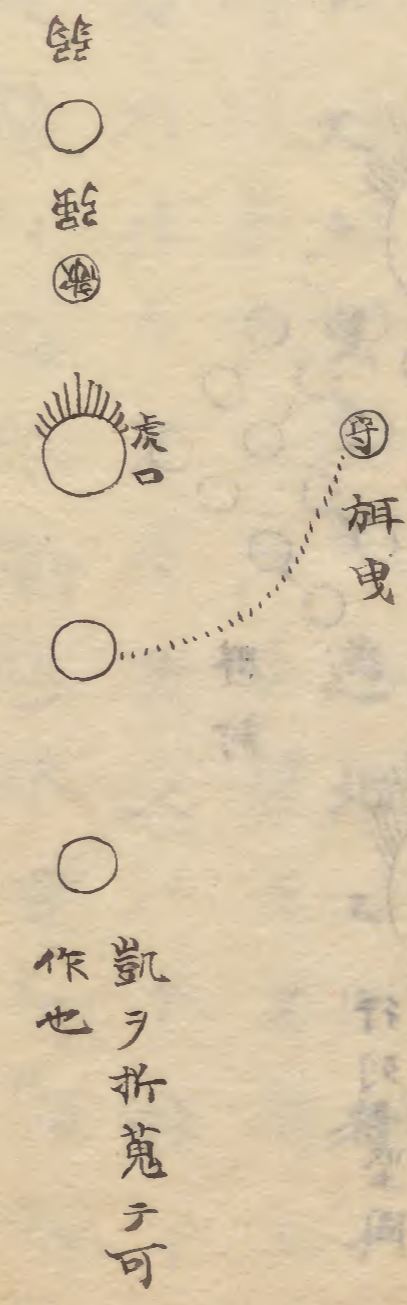
一 敵ノ前陣強シテ後陣弱キヲハ



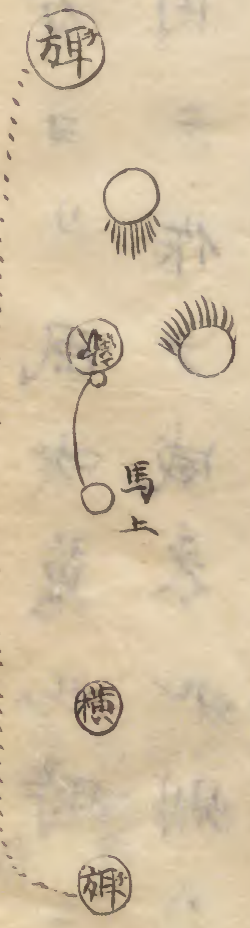
行列ヲ堅固ニメ討事ヲ止テ造立事ヲ虎口トナス

一 逃スルヲ追ニハ本勢ハ行列ヲ  
 整鑓筏ヲ造テ唯追立ル事ヲ虎  
 口トシテ不可追乱其外ノ勢ハ本  
 勢ノ左右ニ群テ勇マニメ氣ニ  
 任テ討取事ハ手柄ヲ可振也如  
 是則ハ敵還討スル事モ不叶シ  
 天大ニ曳立テ逃北スル者ナリ

一 我之勢ヲ三手ニ分一手ハ彼ノ  
 前陣ト戦イ一手ハ旗曳ニ相  
 守一手ハ芝ヲ不動シテ折蒐々  
 ヲ凱ヲ作ルヘシ如是則ハ敵必  
 ス後軍ヨリ北崩スヘキ者ノナ  
 リ



一 敵ノ前陣弱シテ後軍強キ則ハ  
 我之以前陣ニ馬上ヲ立本勢ハ二  
 手ニ分先馬上ヲ以テ其鋒ヲ乘  
 リ崩シ其動搖ニ乘テ本勢ノ者  
 ハ一手ハ前ニ進出テ彼之後  
 軍ニ切蒐リ一手ハ旗曳ニシテ  
 敵ノ後ヲ要ルヘキ者也



一 敵方ヨリ風吹蒐ル時ニ彼之勢

ヲ円ニ作テ威来ル則ハ疾偽曳

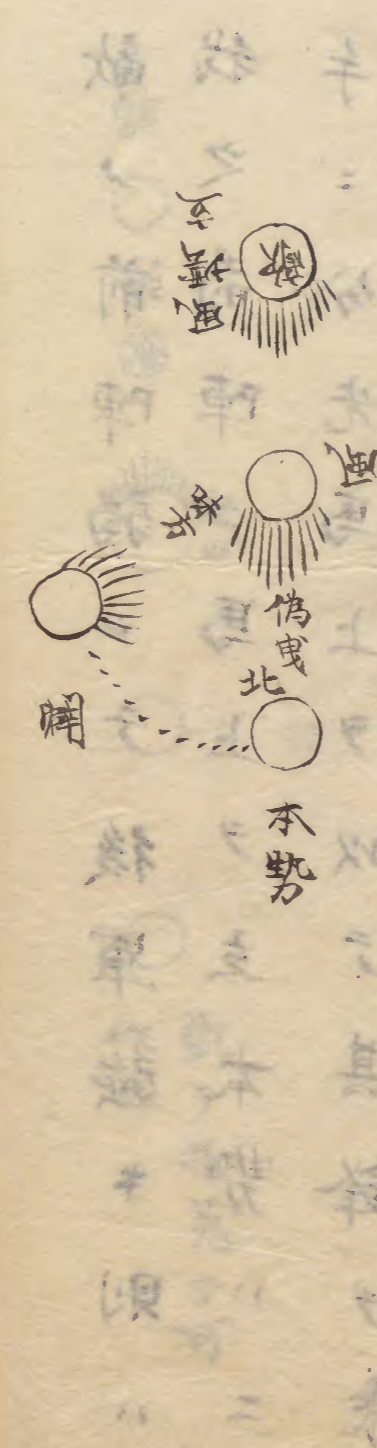
者ヲ可蒐彼之其偽曳ニ乘来ル

則ンハ近ト曳ハ受テ本勢ハ

颯ト腋工曳除テ横併ヨリ可蒐

合如是則ハ敵大ニ周章シテ敗

軍スヘキ者也



一 味方計都ノ悪星ニ向時ハ鉄矢

ノ者ヲ備表ハ一邊ニ立テ敵ヲ

近々ト曳受テ一同ニ討蒐テ其

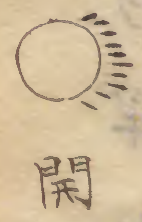
煙下ニ乗テ本勢ハ一方ニ変化

シテ戦ハハ必ス悪方ヲ逃ル

者也

煙煙煙煙煙  
 ○○○○○○  
 鉄矢同同同同同  
 鉄矢

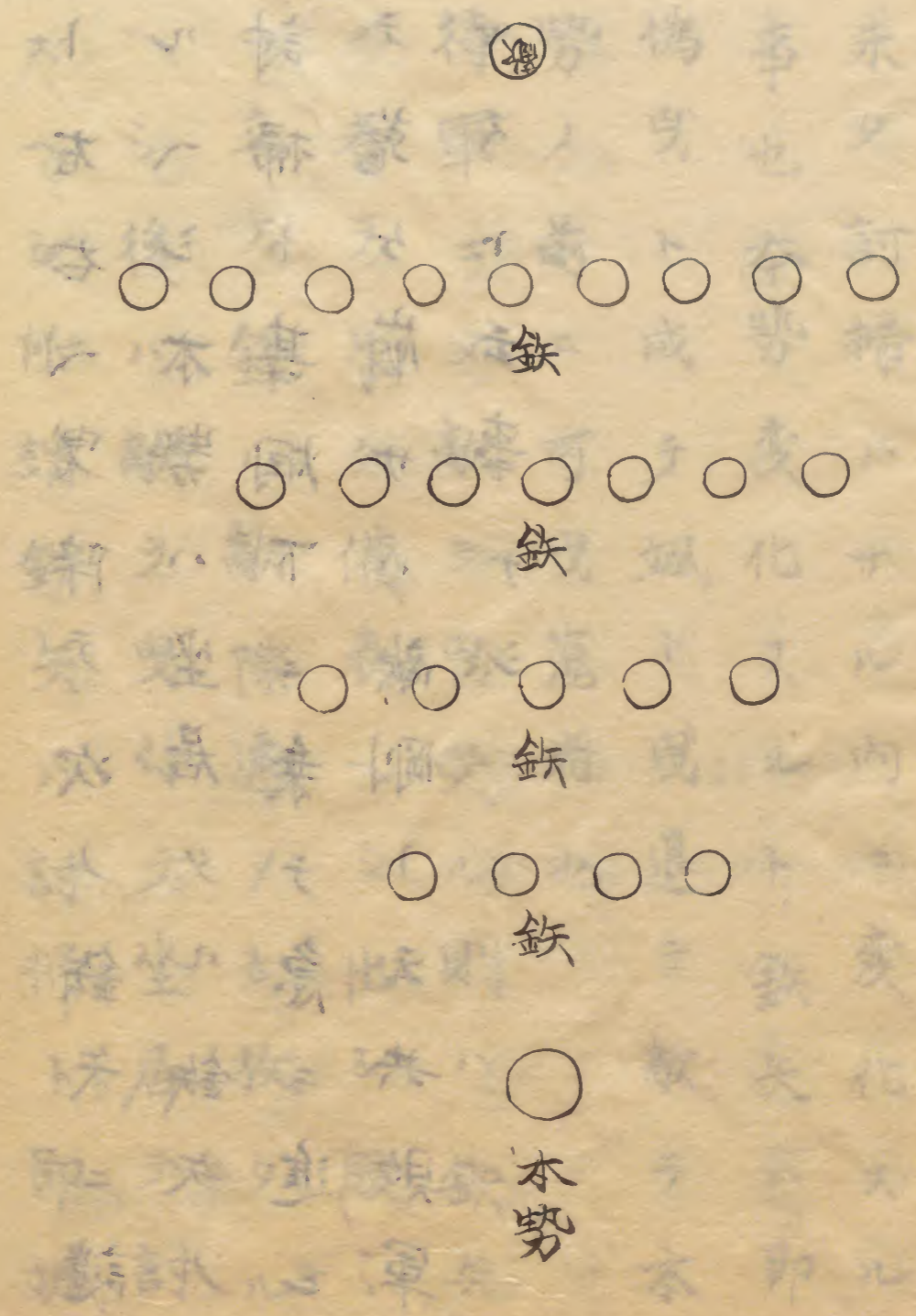
○ 本勢



右ノ変化ハ鉄矢ヲ半ハ討半ハ  
未夕討掃ハサル内ニ変化スル  
事也本勢変化スルト鉄矢ハ即  
偽曳ト成テ颯ト曳退テ敵ヲ本  
勢ノ前エ可曳蒐者也  
一待軍ニメ敵ヲ曳受ル則ハ鉄矢  
者ヲ尽ク備表一シ出シ段々  
ニ立テ鋒ハ敵際遠ノ立放  
一シ後ハ敵ヲ曳付テ坐居テ討  
スヘシ所謂鉄矢ハ討掃ト即颯

ト左右ハ曳碎テ次ノ鉄矢ニ譴  
ルヘシ本勢ハ坐居タル鉄矢ノ  
討掃ト其烟下ニ乗テ急ニ進  
テ蒐ケ崩サハ敵剛ト云共敗軍  
セスト云事ナシ

○間薄ク次第ニ厚立ル



一塵付テ率ニ晴拳心歎ヲ進テ

戰事ナカレ彼ヲ来ラシメテ可

蒐合也其行ト云ハ前陣ハ輕備

後軍ハ坐居テ一方ニ鉄矢ヲ立

テ可相待彼来則ハ一ハ開二ハ

曳受テ可戰

如是則敵大ニ動搖スルハ其時ニテハ  
 其相色ニテハ其動搖スルハ其時ニテハ  
 其相色ニテハ其動搖スルハ其時ニテハ



開テ一番ニ蒐

一開テ亦急ニ蒐

ルト云ヘトモ進未

ル歎ハ止テ不叶ノ

ニ蒐ルナリ故ニ

ハ曳受テ可戦ト

云

受テ一方へ颯ト可闘也鉄矢ハ  
前陣開シ視テ一同ニ救蒐へキ  
也若歎不白シテ本勢ニ蒐ラハ  
本勢ハ甲シ側テ坐居テ虎口ヲ  
堅ハ歎必ス白ムへシ其白必ヲ  
開勢ハ拳凱テ横併ニ蒐ルへシ  
如是則歎大ニ動搖スへシ本勢  
ハ其相色ニ乗テ立拳テ可蒐合  
者也  
一 歎偽曳ヲモ不蒐亦鉄矢ヲモ得

受テ一方へ颯ト可闘也鉄矢ハ  
前陣開シ視テ一同ニ救蒐へキ  
也若歎不白シテ本勢ニ蒐ラハ  
本勢ハ甲シ側テ坐居テ虎口ヲ  
堅ハ歎必ス白ムへシ其白必ヲ  
開勢ハ拳凱テ横併ニ蒐ルへシ  
如是則歎大ニ動搖スへシ本勢  
ハ其相色ニ乗テ立拳テ可蒐合  
者也  
一 歎偽曳ヲモ不蒐亦鉄矢ヲモ得

テ 數 不 用 彼 之 本 勢 相 靜 之 我  
ヲ 待 ハ 方 便 ス ル ト 可 知 我 之 推  
向 二 彼 之 備 表 二 坐 居 ヲ 知 我 者 數  
視 工 敵 テ 鉄 矢 ヲ 不 討 ハ 我 之  
勢 ヲ 曳 入 テ 一 同 二 討 悩 ハ キ 謀  
ト 可 知 平 易 ナ ル 地 二 我 之 討  
向 ト 云 ハ 敵 備 ヲ 堅 ヲ 敢 テ 進  
向 者 ナ キ ハ 彼 之 ハ 変 化 一 行 ヲ  
設 テ 我 ヲ 曳 付 ル ト 可 知 彼 之 鉄  
矢 ノ 者 ヲ 數 進 セ テ 噪 動 ヲ 止 時

ナク 防 矢 射 ヲ 事 ト セ ハ 其 後 二  
テ 手 分 ヲ ナ ス ト 可 知 敵 武 視 ヲ  
出 テ 還 ル 氏 氏 視 上 ス 漸 ヲ 武 視  
ノ 者 ヲ 益 ハ 我 ヲ 曳 入 ル 事 ヲ 好  
行 ト 可 知 敵 ノ 前 陣 ハ 討 出 テ 備  
後 陣 ハ 際 ヲ 隔 テ 遠 ク 我 既 二 近  
マ ト 討 向 ト 云 ハ 氏 氏 彼 之 後 陣 ヲ  
勢 ハ 後 攻 ス ル 事 ナク シ テ 歸 兵  
ヲ 設 ク 二 前 陣 上 遣 粧 ア ラ ハ 後  
陣 ヲ リ 先 手 ヲ 曳 ト レ ト 諫 ル 者

也如是則ハ急ニ取菟テ其勢ヲ  
曳セスシテ驅リ留テ討キスハ  
シ彼之條来テ敵在シテ務ント  
スルハ薪取草刈等ト可知小勢  
ニメ士卒縦横メ側ニ走回ラハ  
陣ヲ取ト可知樵採苜田スル者  
ノ追掃ワシトスルニ驚事ナキ  
ハ伏兵有ト可知彼之尽ク扶テ  
立ハ飢疲レタルト可知彼之後  
陣ヨリ勢来テ側ニ備テ其ヨリ

先手ニ備兵ヲ遣スハ曳取行ト  
可知敵動揺スルト云ハ氏可討  
シ遁スハ兵勞スルト可知彼之  
手数ノ備ヲ馬上乗回テ驅ハ武  
際ニメ一手ニナスト可知彼之  
一手ノ備ヲ馬上軍中ヲ馳隔ハ  
武際ニシテ手数ヲナスト可知  
味方逃ニト討向ト云ハ氏彼之  
小勢ヲ備テ不驚ハ前ニ切処ア  
リト可知味方討向ニ彼之後勢

ノ動搖セハ或ハ後責或ハ横相  
ヲ入ト可知彼之前陣不坐居シ  
テ動搖シ其後ハ静テ堅キハ一  
ハ開ニハ戦ト可知彼之鉄矢ノ  
者ヲ尽ク出シテ遠矢ヲ以繰菟  
テ本勢ノ動搖スルハ曳除行ト  
可知彼之輕卒ヲ漸々ニ益テ我  
之陣ニ進セテ其後ノ静テ堅キ  
ハ偽曳ヲナスト可知彼之前後  
氏ニ惣勢尽手ヲ乱メ散在シテ

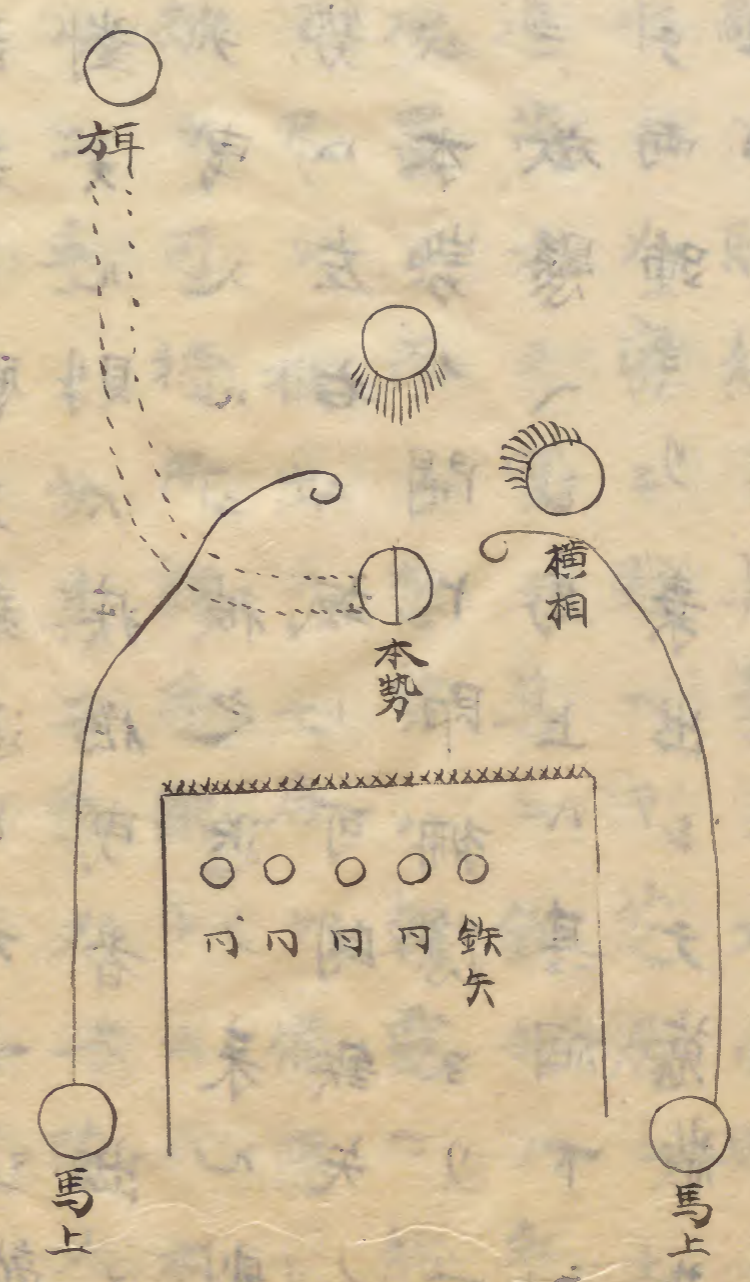
来ラハ伏ヲ設事アリ或ハ我之  
内方ニ歎ヘ心ヲ合ル者有テ彼  
ヲ曳入ルト可知如是則ハ疾大  
将陣ヲ堅固ニスヘシ  
味方之相色曰  
我之勢ノ歎ヲ見入テニ重ニ成  
テ威菟ハ勝惣勢歎ヲ受テ一同  
ニ坐居者ハ勝惣軍ノ鸣音ノ静  
ルハ勝惣軍ノ馬威テ取テ出  
ルハ勝惣軍將ノ下知ヲ悦ハ勝

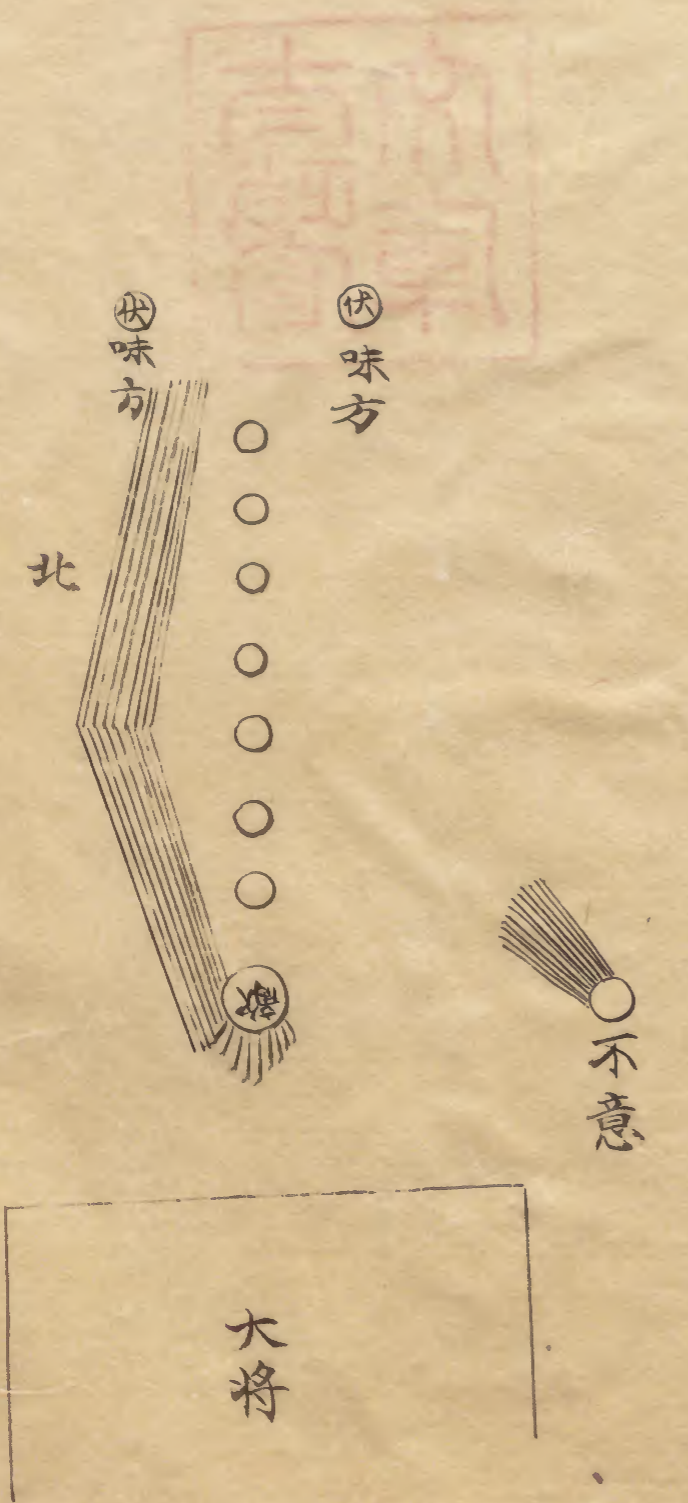
人馬一処ニシテ自ラ圓ナルハ  
勝矣  
一 剛歎ト取組テ大事ニスル則ハ  
夜中ニメ密ニ戦ハキ芝居ニ土  
居逆茂木ヲ曳ニ其ニ鉄矢ノ手  
ヲ伏置テ而メ惣勢ハ朝露ニ紛  
レテ尽ク推出テ土居ヲ備隠  
テ歎シ可待所謂手配ト云ハ本  
勢ハニ手ニ分其二手ヲ一隊メ  
備ヨ亦土居ノ西踵ニハ究竟ノ

馬武者ヲ勝テ乗込トスヘシ歎  
相對スル則ハ疾偽曳者ヲ出メ  
歎ヲ曳入ルニ彼之近ク来ル則  
本勢ハ左右ニ颯ト可闕鉄矢ノ  
者ハ本勢ノ開ト即柵隠ヨリ一  
同ニ放懸ヘシ馬上ハ其烟下ニ  
乗テ西踵ヨリ乗出シテ蒐散サ  
ハ本勢ハ其利ニ乗テ一手ハ横  
併ニ取組一手ハ旗曳ニ進出テ  
前後ヨリ要ルヘキ也如是則ハ

一 戰ヲ 勵ス 内ニ 日既ニ 暮テ 曳除  
 事不 叶シテ 率ニ 夜陣ヲ 連則ハ  
 旗竿ヲ 以テ 虎落シ 結其ノ 弓  
 鉄矢ヲ 伏置テ 而メ 剛兵 將軍ノ  
 前後 左右ニ 有テ 堅固ニ 守護メ  
 夜ヲ 曉ヘシ 若夜 討来ル 時ノ 夕  
 ヲ 狼率ヲ 以テ 彼之 可来道ノ  
 左右ニ 伏シ 亦練士ヲ 以テ 不意  
 ノ 地ニ 寄り 墨外ニ ハ 旗曳有テ  
 備テ 夜蒐来ル 併待ハシ 彼来ル

敵剛強ト云凡不勝ト云事不可  
 有其圖曰





ハキ者也  
其図曰

則ハ道ノ左右ノ伏ク兵ハ寂ト  
 ヲ歎ヲ通ヘシ然ニ彼之墨ルニ  
 推寄テ迭ニ防戦境ニ不意ノ地  
 ニ有ル練士ハ一同ニ挙凱ヲ歎  
 迹ヲ塞カントスハシ如是則ハ  
 彼之大二周章メ必旗曳ノ方工  
 北蒐ルハシ然ル所ヲ旗曳者モ  
 挙凱テ一同ニ蒐ケ立ハ彼亦未  
 ヲ道工北還ルハシ其時伏兵  
 ハ起合テ四方ヨリ取口ヲ討取



止戈樞要卷九十五終



